

ベリーズ犯罪等発生状況（令和7年12月分）

[殺傷事件・銃撃事件関連]

12月1日【銃撃殺傷事件】 午後11時30分頃、ベリーズ市在住の男性が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、銃声を聞いた近隣住民からの通報により現場へ駆けつけた警察官らは、道路脇で意識不明の状態の被害男性を発見した。その後、到着した救急隊員により、男性の死亡が確認された。警察当局は、この事件は最初から被害男性を標的とした銃撃事件であるとし、現場周辺を封鎖し、捜査を続けている。

12月4日【銃撃殺傷事件】 午後4時頃、ベリーズ市イースト・カナル地区において男性（28歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、サンペドロ町の労働者である被害男性は、自分の子供達と会うためにイースト・カナル地区を訪れたところ、不審な男性から複数回発砲された。被害男性はその後、KHM病院に搬送されたが死亡が確認された。警察はこの事件の捜査を継続中。

12月6日【刺傷事件】 午前3時頃、オレンジウォーク郡ギニア・グラス村において、ナイフによる刺傷事件が発生した。被害男性の証言によると、同じ村に住む男性4人が被害男性に近づき、突然、襲撃されたという。背中と腹部に刺し傷を負った被害男性は、その場から逃げ出し警察へ助けを求めた。後日、警察は容疑者4名を指名手配した。

12月7日【銃撃殺傷事件】 午後11時頃、ベリーズ市プログレス通り沿の住宅において、男性（45歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、近隣住民から銃声が14回も聞こえてきたとの通報を受け、近くをパトロールしていた警察官らが被害男性の自宅へ駆けつけたところ、複数の銃創を負った被害男性が倒れていた。その後の捜査により、この事件の容疑者1名を逮捕した。なお、被害男性は、麻薬の違法取引の容疑者で、翌8日に地方裁判所へ出廷する予定だった。

12月14日【刺傷事件】 未明、トレド郡プンタゴルダ町において、兄弟2人が刺傷する事件が発生した。警察によると、被害に遭った兄弟は、町の酒場で他の客と口論となり、割れたビール瓶で腕などを刺された。その後、この兄弟はプンタゴルダ病院へ搬送、入院となった。なお、容疑者らは逮捕され、プンタゴルダ警察署へ拘留されている。

12月31日【銃撃殺傷事件】 午後6時15分頃、ベリーズ市南エリアのワイト通りにおいて、男性（45歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、この事件は被害男性の他に、男性の姪である女性（26歳）が銃撃により重傷を負い、両名はその後、KH

M病院へ搬送された。また、被害男性は（数あるうちの一つの）地元ギャング組織のリーダーで、敵対するギャング組織の待ち伏せに遭い、殺害されたもよう。現時点で逮捕者は出しておらず、警察の捜査が続けられている。

12月31日【銃乱射事件】 午後8時30分頃、スタンクリーク郡インディペンデンス村において、銃の乱射により男性1名（39歳）が死亡、その他6名の住民が負傷する事件が発生した。警察によると、事件はマイケル・アッシュクロフト・スタジアム近くの酒場で発生し、その後、容疑者1名を拘束中であるとした。また、追加の報道によれば、この事件は地元の麻薬密売に関連しており、近隣の（トレド郡）ベラビスタ村の売人が関与していたとされている。

12月31日【銃撃殺傷事件】 午後11時頃、スタンクリーク郡ポケナ村において、男性2名（22歳、23歳）が死亡する事件が発生した。警察によると、被害に遭った両名が自宅で過ごしていたところ、何者かの襲撃を受け、殺害された。その後、近隣住民から通報を受け駆けつけた警察官らにより南部地域病院へ搬送されたが、死亡が確認されている。警察は近隣住民に対し、この事件についての情報を求めるとともに、捜査を継続している。

【強盗事件・窃盗事件関連】

12月1日【侵入窃盗未遂】 午後7時頃、ベリーズ市キングスパーク地区のバチェラー道にある住宅において、侵入窃盗未遂事件が発生した。警察によると、この家の住民が外出先から帰宅した際、自宅の玄関ドアが破壊されていることに気がつき、警察へ通報した。その後、駆けつけた警察官と共に室内を確認したが、幸いにも、何も盗まれていなかった。警察は、窃盗未遂、器物損壊の両方から捜査を続けている。

12月3日【侵入窃盗事件】 午前5時45分頃、オレンジウォーク郡ベリーズ・コロザル道沿いの商店において、侵入窃盗事件が発生した。警察によると、当日の開店準備のため店主が店に到着した際、店の木製窓が破壊されていたため、警察へ通報した。その後、店内を確認したところ、食品容器、調理器具、電化製品、小型電子機器類、その他等が盗まれており、被害総額はBZ\$3,304（約24万7千円）だった。警察は、店内の監視カメラの映像を確認しつつ、近隣住民へ情報提供を呼びかけている。

12月11日【強盗殺人事件】 午後3時40分頃、ハミングバード・ハイウェイ60km地点のビリー・パークエディアー国立公園付近において、強盗殺人事件が発生した。警察によると、近隣住民から通報を受け駆けつけた警察官は、現場付近にレイシス・インポート社（ジ

ェラート会社のサリタ)の配送トラックが駐車しているのを発見した。トラックが駐車されていた付近を捜査したところ、男性2名(22歳、43歳)の遺体を発見し、その後、運転手と特定された。この事件の容疑者や動機は不明で、警察は強盗殺人として捜査を続けている。

12月15日【**侵入窃盗未遂**】 午前5時頃、スタンクリーク郡ダングリガ町のベリーズ銀行ダングリガ支店において、侵入窃盗未遂事件が発生した。警察によると、同時刻、ベリーズ銀行の警報システムが作動し、警察官が現場へ急行した。到着後、支店長と合流し、支店裏口へ向かったところ、不法に侵入しようとした形跡があった。その後、支店内も確認し、荒らされ形跡があったが、盗まれたものは何も無かった。警察は、侵入窃盗と器物損壊の両方から捜査を続けている。なお、同支店は翌日から営業を再開している。

12月20日【**武装強盗事件**】 午後5時45分頃、カヨ郡サンタエレナ町の食料品店において、武装強盗事件が発生した。警察によると、拳銃を所持した強盗2名が店内に押し入りレジの中の金銭を強奪し、その後、逃走した。店主は護身用の拳銃(許可証あり)を持って犯人らを追いかけたが見失い、駆けつけた警察官らへ状況を報告した。警察は情報提供を呼びかけるとともに、捜査を続けている。

【**違法薬物・違法銃器類関連**】

12月1日【**密輸大麻の発見**】 未明、オレンジウオーク郡オレンジウオーク町のサンフランシスコ通りとフォンセカ通りの交差点付近において、密売用の大麻を発見する事件が発生した。警察によると、かねてより麻薬の密売スポットとして認識されている同交差点付近の茂みの中に、セメントブロックの下に隠されていた大麻約12グラムを発見した。なお、この大麻は拾得物として警察署の保管係へ引き渡され、麻薬捜査官が付近の捜査を続けている。

12月3日【**違法薬物に関与した税関職員が再出廷**】 午前11時50分頃、ベリーズ市の地方裁判所において、10月の初公判以来、税関職員2名が再出廷した。この2名の税関職員は姉弟で、10月2日に大麻約68kgの密輸に関与したとして起訴されており、当時、BZ\$2万(約150万円)の保釈金を支払い、保釈されていた。被告らは同日、第一法定の首席地裁判事により95ページにわたる開示書を手渡され。本件の審理は延期され、翌2月3日に再開される。

12月4日【**違法薬物の摘発**】 午前10時45分頃、カヨ郡サンイグナシオ町の郊外に位置するブランチ・マウス・パーク地区において、違法薬物の摘発が行われた。警察は、同地区で行われた一斉摘発で、同地区の住宅の浄化槽から所持規定量（10グラム）を越える大麻約23グラムとコカイン4.5グラムが発見された。また、警察によると、この件で容疑者の男性5人（20代から30代）を拘束した。押収された違法薬物は証拠品として提出され、容疑者らは起訴されるまで警察署に拘留される。

12月10日【**クラック・コカイン所持**】 午後8時頃、オレンジウオーク町のモハ・リバー通りにおいて、個人使用の目的でクラック・コカインを所持していた男性（31歳）が逮捕された。警察によると、同町をパトロールしていた警察官が、挙動不審な男性を発見し、身体検査を行ったところ、男性が所持していたリュックの中から0.13グラムのクラック・コカインが発見され、男性はその場で逮捕され、違法薬物所持の容疑で起訴されるまで、警察署に拘留される。

12月10日【**クラック・コカイン所持**】 午後8時頃、オレンジウオーク町のテマッシュ・レーンにおいて、個人使用の目的でクラック・コカインを所持していた男性（55歳）が逮捕された。バイクパトロール隊の警察官が同町にて検問を行っていたところ、検問を通過しようとしていた男性の指の間にクラック・コカイン0.12グラムが隠されているのを発見した。この男性はその場で逮捕され、違法薬物所持の容疑で起訴されるまで、警察署に拘留される。

12月14日【**粉末コカイン所持**】 午後9時15分頃、オレンジウオーク町のステーション通りにおいて、密売目的でコカインを所持していたホンジュラス国籍の男性（31歳）が逮捕された。警察によると、同町をパトロールしていた警察官が挙動不審な男性を発見し、身体検査を行ったところ、粉末コカインがはいった小袋4つ、合計2.1グラムを発見した。男性は拘束されたが、権利を主張し所持品の押収を承認する書類への署名を拒否した。捜査は継続され、男性は警察署へ拘留され続けている。

12月30日【**違法銃器類の押収**】 午後3時頃、ベリーズ市レイク・インディペンデンス地区のナツメグ通りのマングローブ林から、違法銃器類が押収された。警察によると、ベリーズ警察の特別支部の捜査官と東部第2管区警察（クイーン・ストリート警察署）の警官らが捜査情報に基づく合同捜査の結果、同地区からAR-15ライフル1丁、5.56口径の銃弾105発、ドラムマガジン2個、7.45口径の銃弾数発、防弾チョッキ2着が発見、押収された。押収品は拾得物として扱われ、捜査チームは事件の調査を継続している。

12月30日【**違法薬物の所持**】 午前11時頃、ベリーズ市のシーザー・リッジ道付近に

において、使用目的不明の大麻を所持していたジャマイカ国籍の男性（36歳）が逮捕された。警察によると、同地区をパトロールしていた警察官を見て逃げようとした男性を確認したため、男性を呼び止め身体検査を行ったところ、所持規定量（10グラム）を越える大麻12グラムを発見した。翌日、男性は地方裁判所へ出廷し、地裁判事に対して早期に有罪を認めたため、BZ \$ 80（約6千円）の罰金刑が科せられた。なお、地裁判事は、被告が1ヵ月以内に罰金を支払わなかった場合、1週間の懲役刑へ切り替えることを言い渡した。

[その他事件・事故関連]

12月14日 [放火事件] 午前6時頃、ベリーズ郡サンペドロ町のトレス・ココス地区にある食料品店において、放火事件が発生した。警察によると、近隣住民から通報を受けた警察官と消防隊員が現場へ到着したところ、店内から煙が上がっているのを確認した。消防隊員の迅速な消火活動により火災はすぐに鎮火され、幸い大きな被害にはならなかった。警察は、店内に残された監視カメラの映像に写っていた、放火の容疑者2名について捜査を続けている。